

議会だより

今回の題字は、^{おき}^だ^{もえ}沖田萌さん（向原中学校3年生）です。



家庭・地域とつながる 安芸高田市立船佐小学校



「ふなさっ子太鼓」



朝マラソン



福祉学習（老人ホームそば打ち交流）



郷土理解学習（そばの栽培）

新年度予算決まる
3月定例会.....2~4

予算審査.....5~8

常任委員会報告.....9~11

一問一答
10人が**市政を問う**.....12~17

あんなこんな
地域のかがやき.....20

可決

地方創生に向けて

(対前年度)	7000万円減	- 0.3%
(対前年度)	9796万円増	+ 0.8%
(対前年度)	1億3300万円減	-21.5%
(対前年度)	1億504万円減	- 0.3%

3月定例会

3月定例会を2月24日から3月18日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計、水道事業会計など13会計の27年度予算及び26年度補正を予算決算常任委員会へ付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。(予算審査は5〜8ページに掲載)

総務企画常任委員会へ2議案、文教厚生常任委員会へ7議案を付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。(各常任委員会審査は9〜11ページに掲載)

本定例会において議案37件について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、10人が市政を問いました。(12〜17ページに掲載)

■同意(1件)

教育委員会委員の任命

天清一 亮 さん

八千代町佐々井

同意



■諮問(6件)

人権擁護委員の推薦

毛利宣生 さん

美土里町生田

辻駒康博 さん

高宮町川根

正田俊郎 さん

吉田町上入江

中土居博臣 さん

高宮町来女木

宮木雅之 さん

高宮町佐々部

土肥元康成 さん

向原町長田

承認

■議員提出議案(1件)

■発議第1号

安芸高田市議会委員会条例の一部を改正する条例について

(概要)

委員会における説明員の出席要求の中で、教育委員会の「委員長」を「教育長」に改正するもの。

※教育委員会制度改革で教育委員長が廃止されたため。但し、本市は現在の教育長の任期満了まで、いまままでおり在職となる。

全員賛成

27
年度
予算

安芸高田市らしい

一般会計 199億5000万円
 特別会計 117億7773万円
 水道事業会計 4億8667万円
 総額 322億1440万円



議案第25号
27年度一般会計予算

■採決

■賛成

玉重 下岡 前重

石飛 水戸 先川

穴戸 塚本 藤井

金行

■反対

玉井 久保 児玉

大下 熊高 秋田

青原

賛成多数

※討論は

次のページへ掲載

■議案 (37件)

条例関係 11件

(新たな条例制定または廃止・条例の一部改正)

○行政手続条例の一部を改正する条例

○特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する
条例

○職員の給与に関する条例及
び一般職の任期付職員の採
用等に関する条例の一部を
改正する条例

○介護保険条例の一部を改正
する条例

○図書館条例の一部を改正す
る条例

ほか6件

公的財産関係など 1件

○公の施設の指定管理者の指
定について

事業・予算関係 25件

○26年度一般会計補正予算ほ
か(11会計)

○27年度一般会計予算ほか
(12会計)

討論白熱！ 27年度一般会計予算

「道の駅」関係予算は執行保留

議案第25号

27年度一般会計予算

■ 討論

■ 反対

久保 道の駅整備の予算を修正せず執行保留とすることは、法的根拠がなく認められない。

秋田 道の駅に関する市費の負担減につながる他の補助金・交付金が現在見つかっておらず反対。

児玉 道の駅について国の交付金も減額されており、後年度負担に関し明確な費用の算出が必要。

熊高 道の駅について歳入の裏付けがなくなっただけで、予算を訂正すべきだがさ

れておらず反対。

■ 賛成

先川 限られた枠の中でよく練られた予算であり、更に磨きをかけられることを要望し賛成。

下岡 地方創生の初年度として、新しいものに挑戦し、前進する予算となっている。

宍戸 厳しい財政状況の中、全体のバランスが取れており、将来に夢と希望が持てる予算である。

前重 地方創生への第一歩を踏み出す年として、市民の願いが盛り込まれた予算と評価する。

石飛 第2次総合計画・実施計画に沿っ

た当初予算である。道の駅は今テーブルから降ろすべきではない。

玉重 第3子以降の保育料無料化などが盛り込まれており、予算を評価する。

※予算審査の概要は5ページから
※道の駅の近況は11ページへ



予算計上した歳入の一部が、国の交付金対象外とされた「道の駅」整備事業

目指せ! 学力向上

市内高等学校教育振興補助金 2校 140万円



吉田高校



向原高校

予算決算常任委員会

2月24日の本会議において審査を付託された27年度一般会計・特別会計予算を3月6・9・11日の3日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 金行哲昭
副委員長 秋田雅朝
委員 議長を除く全議員

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 総務部

前重 新規の「市内高等学校教育振興補助金」(2校140万円)は、生徒の励みになり学力向上につながるかと考えるが、これからも継続するのか。

杉安総務部長

吉田高校は、教育振興を目的に、教育ソフト・インターネットを紹介して、有名な塾の講師の授業が受けられる費用。向原高校は、教育水準を上げるため、授業のあり方も変わってきている中、電子黒板を購入し活用。補助事業が続くかは、今後の取り組み内容による。



消防署

27年度 防火標語「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

■ 消防本部・消防署
下岡 職員数が52名から49名へ減少しているが。

■ 杉田消防総務課長

3名の早期退職があり、次年度で採用試験をするため欠員となっている。

前重 職員数の減少で、機能に支障はないか。

■ 久保消防長

欠員を埋めるため、毎日勤務者が交替制勤務に入り、最低限の災害対応ができる体制にしている。

子育て支援の充実

第3子以降の保育料無料化 4000万円
不妊治療助成事業補助金 450万円



吉田保育所

■福祉保健部

玉重 新規事業の第3子以降保育料無料化の対象者数は、**久城児童福祉係長** 26年度10月の試算で196名、約4000万円を見込んで

秋田 不妊治療助成事業補助金450万円の内容は、**佐々木保健医療課長** 26年度から始まったもので、県が認定した方に市が上乘せの補助をする。最高1回15万円、1人6

回限り。

不妊治療助成事業

■助成回数（平成26及び27年度）

40歳未満	43歳になるまで通算6回
40歳以上	1年目3回まで、2年目2回まで

※年齢は、治療開始時における妻の年齢を示す。
※平成28年度以降は対象範囲、助成回数が変わります。

■助成額

治療費から県の助成額を除いた額を市で補助（1回15万円まで）
（例1）治療費50万円の場合

広島県	安芸高田市	本人負担
15万円	15万円	20万円

（例2）治療費20万円の場合

広島県	安芸高田市	本人負担
15万円	5万円	0円

児玉 シルバー人材センター補助金の減額理由は、**岩崎高齢者福祉課長** 5年で1割削減への協力をお願いしている。事業運営については会員数の増、受託事業の増があり、効果が出ている。

■市民部
久保 エコモデル事業の内容は、**中村環境生活課長** モデル地域を定める、ごみの分別を現在の15分別から県内最高の24分別とするもの。

■教育委員会

熊高 市が所蔵する美術品の管理等は、**松野生涯学習課長** 向原支所に整備した収蔵庫に収納。毎年度14点寄贈を受けるため手狭になっている。保全には燻蒸を適時行い、収納は遮光カーテンを整備。竹炭等で湿度を管理している。

■特別会計

■国民健康保険 特別会計

児玉 保険給付費の減額の要因は、**田村保健医療課長** **補佐** 医療費の伸びは4%程度を見込んでいたが、現時点で2%程度となっている。また、被保険者数の減が主な要因。

早急に市の方針を!

「道の駅」用地補償費などに 4億円



建設部

「道の駅」関係

説明概要

国と共同で進めている「道の駅」整備事業で4億72万1千円計上しているが、予算編成後に国の交付金が対象外とされたため、現在、国と市の施工区分や事業費の見直しを行っている。

よって、提案している予算は見直し後に変更する必要がある。

前重 予算の再考はいつ頃までに行うのか。

西原建設部長 国から「見直し案」が提示されたが容認できないため、今後更に国・県と協議・調整し市の方針を定める必要がある。できるだけ早めに定めた。

穴戸 当初予算は今後の国との交渉にも影響するのでは。

市長 今後の関係もあるのでは、「執行保留」という形で認めてもらいたい。

熊高 執行保留に法的根拠はあるのか。

武岡企画振興部長

法的に根拠はない。予算は一応計上し、その執行にあたっては皆さんの理解を得るまでは執行しない、という市長の意思表示である。

熊高 検討委員会の予算を残し、減額訂正すべきでは。

市長 私を信用して欲しい。皆さんの前で宣言しているの。

児玉 初期投資だけでなく、後年度負担・ランニングコストの提示を。

大本建設部事業調整

員 実際の運営形態等によりランニングコストは大幅に変わるが、早急にまとめて示したい。

水戸 産直市の移転等により、国費の返還が生じるのでは。

大本建設部事業調整

員 従前は返還不要との話だったが、2月上旬に約6000万円の返還金が生じると話があった。

産業振興部

穴戸 小規模崩壊地復旧事業で3カ所計上しているが、把握しているものは早急に整備すべきでは。

佐々木農林水産課長

約30カ所要望を聞いているが、地元負担金が25%必要なため、地元協議をしながら優先順位を付け、できるところからやっていく。

特別会計

浄化槽整備事業

特別会計

青原 現在の浄化槽設置数及び普及率は。

上本上下水道課長

25年度末で、区内戸数6860戸に対し、水洗化戸数が3199基、普及率が46.6%。26年度で91基整備。今後も啓発していきたい。



小規模崩壊地

26年度補正予算

各事業の精算見込みにより

1億3021万円減額

(一般会計総額 209億7877万円)

可決

「地方創生先行型交付金対象事業」 8事業 7678万円

「地方消費喚起・生活支援型交付金対象事業」

1事業 8343万円



プレミアム商品券

主な質疑

■ 企画振興部

Q 地方創生交付金のサテライトオフィス企業誘致のPRについては。

A 光ネットワークも大きな強みであるが、公共施設や空き家の活用、あるいは観光での強みもあり強くPRしたい。

■ 産業振興部

Q プレミアム商品券について、各世帯に2冊を限度に発行するプレミアム率30%の商品券とした市の判断は。

A 市民のために消費喚起・生活支援をしっかりとやったという意思表示をするとともに、市民の購買意欲を促し、元気が出てくる効果を期待して30%とした。

■ 建設部

Q 地域高規格道路に係る残土処分施設計委託料の減額によってトンネル工事が進まない恐れがあるが、今後の見通しは。

A 残土処分地には県の示す95,000㎡の処分量を確保するだけの土地が必要であり、継続して県と協議・調整しながら処分地確保に向けて進めていく。

■ 教育委員会

Q ICT利活用による地域活性化について、小中学校への電子黒板、タブレット端末等の導入の具体的な計画は。

A 小・中学校で各1校をモデル校として選定し、電子黒板等を導入するとともに、特別支援学級においてもモデル校を選定してタブレット型端末を導入するよう計画している。



電子黒板での授業風景

総務企画常任委員会

3月定例会で付託された議案2件を、3月4日に委員会を開き、慎重に審査しました。

(主な審査)

○公の施設の指定管理者の指定について

(報告事項)

○第2次安芸高田市総合計画基本計画について

○地方創生について

○地域おこし協力隊について

- 委員長 石飛慶久
副委員長 玉井直子
委員 水戸眞悟
熊高昌三
藤井昌之
山本優

公の施設の指定管理者の指定について

■概要

平成27年度新たに協定を締結する施設は44ヶ所。安芸高田市保健センターが新規で、残り43施設は再指定。指定年度で言うと1年間の指定期間のものが9施設、3年間のものが35施設。

■質疑

熊高 社協の本所機能が吉田の保健センターに移ること、市との連携をどのように持たれるか。

岩崎高齢者福祉課長

地域包括支援センター業務も社協に委託するということで、市にとっても機動的になり一層社協との連携は取れると思う。



社協の本所が移転した保健センター

地方創生 地域おこし協力隊

地方創生について

■質疑

熊高 地方都市との関係、地域連携を具体的にどう考えているか。

浜田市長 地方創生

については特段新しいことではない。今までもやっている。そのためには地域の宝や文化を言っていかなければならない。本市の課題は地域が分散していることとあり、まとめるものはまとめ、分散しているものも考えて地域づくりをしていく。

地域おこし協力隊

■質疑

熊高 2次選考では15名が残ったが、5つの事業に対し、どのような提案があったか。

武岡企画振興部長

地域おこし協力隊でやってみたいという意気込みが非常に感じられ7名の枠で考えている。協力隊員には、調理師免許、農業改良普及員の資格を持ち、技術を習得された方が多くおられる。

地域おこし協力隊員

氏名	前住所地	配属部署
内田峻典	大阪府大阪市	住宅政策課
寄能麻里	広島県廿日市市	政策企画課
中溝国久	福岡県宗像市	商工観光課
南澤克彦	広島県広島市	地域営農課
宮崎絵美	愛知県岡崎市	地域営農課
森本真希	広島県広島市	地域営農課

文教厚生常任委員会

3月定例会で付託された議案7件を、3月3日に委員会を開き、慎重に審査しました。

(主な審査)

- 子どものための教育・保育に関する利用者負担等を定める条例
- 保育所条例等の一部を改正する等の条例
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

ほか4件

委員長 前重昌敬
副委員長 久保慶子

委員 下岡多美枝
委員 児玉史則
委員 金行哲昭
委員 青原敏治

子ども・子育て支援が新制度に

放課後児童クラブ対象が小学校6年生まで拡大

「小学校1年生～3年生」
→「小学校に就学している児童」へ



向原児童クラブ

認定制度の導入

保育所・公立幼稚園の利用希望者（保護者）は利用認定が必要

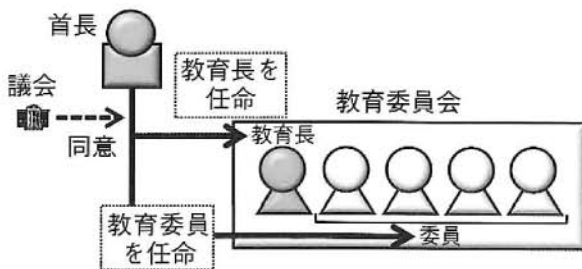
- 1号 幼稚園利用
- 2号 3歳以上児保育所利用
- 3号 3歳未満児保育所利用

公立幼稚園の保育料も世帯の所得に応じた負担額に

定額→所得に応じた応能負担に
(激変緩和措置を導入予定)

新たな教育委員会制度

- ・教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の任命
- ・教育総合会議の設置 など



首長が直接教育長を任命することにより
任命責任が明確化

新「教育長」(常勤)

- ★教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表(会議の主宰者、具体的な事務執行の責任者、事務局の指揮監督者)
- ★任期3年

3月定例会で付託された議案はなく、3月5日に委員会を開き、所管事務調査を行い、報告事項4件を受けました。

○(所管事務調査) 道の駅について

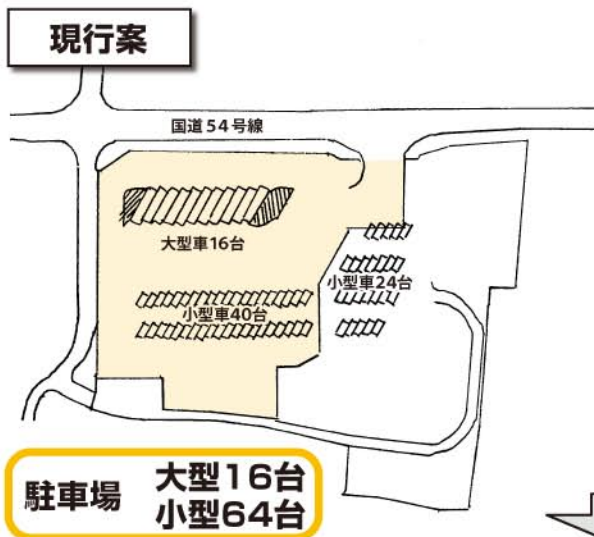
○(報告事項) 空き家対策について
ほか3件

委員長 大下正幸
副委員長 秋田雅朝

委員 玉重輝吉
先川和幸
穴戸邦夫
塚本近

『道の駅』の近況

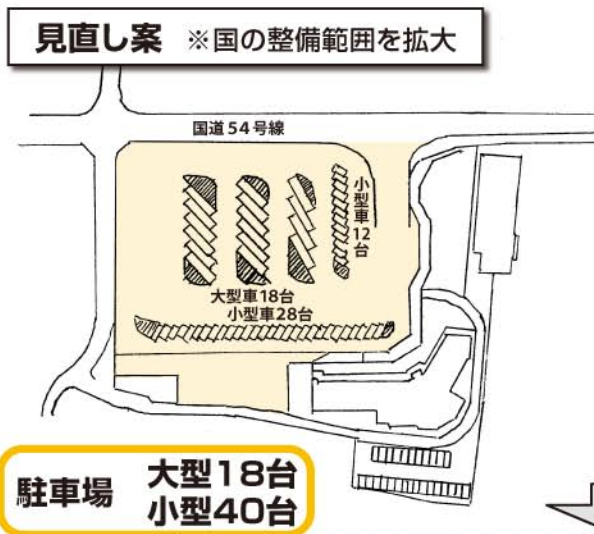
- 1月29日 国土交通省三次河川国道事務所と市で説明会を開催(用地地権者・借家人)。
- 2月6日 国から「市の整備する“道の駅”は市道部分以外は補助対象にならない」と通知。
- 市は突然の通知を容認できず、国と整備範囲等について協議を行い、国の見直し案が3月3日に提示された。



総面積 14,000 m²
国 7,000 m²
市 7,000 m²
市の事業費 9億4500万円

※うち、交付金・補助金は4億9255万円見込んでいた。

市の整備する土地の大部分が補助対象外とされ、交付金約1億8,480万円減少。突然の通知に対し、市は容認できない。



総面積 14,000 m² (変更なし)
国 9,000 m²
市 5,000 m²
市の事業費 8億1250万円

※うち、交付金・補助金は3億775万円。現行案にくらべ市費は5230万円増。

駐車場台数が小型車64台から40台へ減少し、集客に支障が出るため容認できない。

市は今後も引き続き、国と協議・調整を行う

今後、委員会としては国の動向を注視、慎重に調査していきます。

市政を問う



宍戸 創生法のもと、必要な行政サービスの把握（住民の意見など）は。
市長 まち・ひと・しごと総合戦略及び市の人口ビジョンを策定するため、女性や若者・高齢者の住民代表に加え、産業界、行政・教育・金融機関・労働団体・メディア等で構成する組織を設置し、議論したいと考えている。



宍戸 邦夫
(無所属)

農業

補助制度の見直しは
市長／これからも柔軟に対応

宍戸 Uターン・イターンで農業を目指す若者に対するパイプハウス設置など施

設に係る経費（資材・種子）の補助制度の見直しができないか。
市長 若者の求めているもの、社会情勢など考慮しながら必要と認められるものは、制度の見直しについてこれからも柔軟に対応したい。



パイプハウスによる年中栽培（チンゲン菜）

一問一答

10人が

減塩料理推進

お太助フォンの動画視聴活用は

市長／今後検討する



下岡多美枝
(無所属)

下岡 食生活改善推進協議会の減塩料理を、外食産業へ積極的に推進を。
市長 健康生活応援店の登録、利用促進の推進を考えている。
下岡 お太助フォン

の動画視聴活用をして減塩料理の推進は。
市長 動画視聴は、今後検討する。
下岡 学校の天井裏点検の結果は。
教育長 12校で25か所の劣化の確認、安全確保に努める。
下岡 小田農協跡地に農産物製品づくり販売拠点は。
市長 地域の皆さんと話し合いをした



みつまた群生地

下岡 向原のみつまた群生地に安心安全の予算を。
市長 地元の人には感謝している。安全な観光を広めたい。

神楽東京公演

検証と今後の方向性は

市長／文化的知名度の向上は本市に有益



水戸眞悟
(絆)

水戸 過去の東京公演を総括検証し、地方創生と相まって今後の方向性は。
市長 ふるさと応援の会関東支部をはじめボランティア応援等協力体制が充実した。文化的知名度の向上により神楽鑑賞ツアーの参入があるなど、有益な成果を得た。課題を検証し効率的な体制で臨む。
水戸 地域おこし協力隊の募集状況と隊

員処遇は。
市長 15名の応募があった。採用後は各部署でアイデアを求めていく。加えて将来定住への環境整備を充実する。



県道 中北川根線

水戸 県道吉田邑南線並びに同中北川根線について改良促進の見通しは。
市長 各路線とも改良要望は認識している。市内幹線道路の改良要望は多いが積極的な予算配分の要望を重ねていく。

中学校

新たな配置計画で、新たに1校新設しては
市長／検討課題としてとらえたい



前重 昌敬 (絆)

市長 今後生徒はどうあるべきか、検討課題としてとらえたい。
前重 年々子どもたち、社会経済も変わ

前重 中学校配置計画、その後の検討は。教育長 平成25年6月に小・中学校保護者にアンケート実施。今後、配置計画の参考としたい。
前重 今後の配置計画についての考えは。市長 学校規模適正化推進計画のローリングを実施していく。
前重 将来の生徒数、維持管理費等考慮する中、新たな配置計画で、新たに1校新設しては。



中学校整備計画、今後は

る中、教育長の考えは。教育長 新たな中学校1校は現段階では、大きな争点となることを想定している。
その他の質問
○情報通信技術（ICT）を活用した健康管理事業について
○バラエティに富んだ「観光資源」の活用について

観光客への土産としての商品は

市長／検討する部署を設ける

商品開発



先川 和幸 (無所属)

先川 観光客への土産としての商品開発の取り組みは。市長 観光振興の観点からも大切なことなので「売れる商品」を検討する部署を設け、しっかりと取り組む。



数々の特産品

先川 正力地区の歩道設置のその後は。市長 地域高規格道路東広島高田道路新設に伴い、本地区の歩道整備は重要と十分認識している。引き続き「広島県道路整備計画」に編入されるよう、県に強く要望する。
先川 耕作放棄地対策は。市長 今後、米作については有機栽培を推進し、特色ある米づくりを目指す。また、現況の農地についても「意向調査」を含めた詳しい実態調査を行う。引き続き現制度を活用し耕作放棄地発生の防止に取り組む。

金行 森林・山村の多面的機能発揮対策事業は、地域環境保全・森林環境教育・資源利用など必要な事業と考えるが。
市長 里山林の保全管理や資源を利用するための活動に対しての支援で、市内に8組織あり、里山林保全管理・森林環境教育に必要と考える。
金行 ふるさと納税は地域への関心、交流人口を増やすこと



金行 哲昭
(政友会)

森林・山村

**多面的機能発揮
対策は**
**市長／里山林の保全管理の
活動に支援**

で、財政基盤確保など効果があると考え
市長 今年度税制改正でふるさと納税が

簡単になり、寄附金をいただくように考える。
金行 地方創生の長期ビジョンとして、総合計画の基本計画、実施計画へ地域課題をどう考えるか。
市長 地域課題は大
事であり、創生本部
全体で考える。



みんなで里山を守る

久保 昨年発足した市鳥獣被害対策実施隊の活動実績は。
市長 農家等からの依頼に基づき、被害状況を確認しアドバイスを行う被害特定活動を合計21回、捕獲活動は合計3回。



久保 慶子
(未来創生会)

有害鳥獣対策 実施隊に市職員の加入は

市長／課題と受け止める

捕獲成果として、イノシシ1頭、シカ6頭、カワウ類21羽、サギ類11羽。
捕獲について始動時期のずれにより、十分な成果となっていないが、今後も組織的な捕獲活動により効果をあげて参りたい。

久保 迅速な対応をするということと、市の職員に資格を取ってもらう必要があるという考えはないか。
市長 労働条件等に問題がある。課題として受け止める。



イノシシ・シカとの根競べくら

老朽化の進む 保育園

市長／早期の保育施設の 建設に努力する

子育て環境



玉井 直子
(未来創生会)

玉井 市内の保育園の状況をみる中で、老朽化が進んでいる甲田町の保育園の今後は。
市長 公立保育所において甲田町の保育園は建築から35年以上経過している。民



建築から35年以上たっている保育所

設民営も視野に入れながら、幼保一元化を実現する「認定こども園」として整備する計画。早期の保育施設の建設に努力する。

玉井 平成27年「第3子以降の保育料の無料化」に取り組まれるが、子育て世代の人達にどうPRするののか。
市長 市広報誌、ホームページはもちろん、市観光施設や各種イベント時におけるパンフレットの配布など、積極的に実施する。
その他の質問
○県道広島三次線の歩道設置の進捗状況について



秋田 雅朝
(未来創生会)

秋田 今年度、重点新規事業として取り組まれるが、これまでの取り組みと今後についての見解は。
市長 市民の理解を深め、普及・啓発を図るため、「認知症サポーター養成」に取り組んできたが、今後も継続し、予防事業の推進、地域包括ケアシステムの構築を進める。

秋田 若年性認知症の対応と支援策は。
市長 対象となる18歳から64歳の方の対策は重要となると考えており、今年度は早期発見等のプログラムを検討する。
秋田 介護者の方への支援策については。

認知症対策

若年性認知症等の対応は

市長／早期発見のためのプログラムを検討

市長 介護サービス
の適切な利用による
介護負担の軽減等、
的確な情報提供によ
り取り組んで参りたい。



民生委員・児童委員研修会での「認知症サポーター養成講座」



神石高原町でのふるさと納税の
取り組み
(犬の殺処分ゼロの取り組み)

熊高 ふるさと納税制度を活用した取り組みで、一年足らずで8千万円余りの寄附が集まっている神



熊高 昌三
(未来創生会)

熊高 地方創生のため、支所機能の充実

く。職員の発想を変え、知恵を出して行く。

熊高 地域や現場の声を吸い上げるにはもっと増員すべきではないか。
市長 人数が多ければよいというものではなく、配置替え等で職員の発想を変え、知恵を出して行く。

地方創生

ふるさと納税と地方創生をリンクしては
市長／安芸高田市の宝を前面に出して取り組む

石高原町の取り組みをどうとらえているか。

市長 神石高原町では、町内のNPOと連携して成功している。本市でも毛利公

やサンフレ、神楽等の宝を活用して取り

組みを進めていく。

強化を図るべきではないか。

市長 コンパクトシティも視野に入れている。福祉関係を除いては現在の6人前後は更に削減が必要と考える。

熊高 地域や現場の声を吸い上げるには

もっと増員すべきではないか。

市長 人数が多ければよいというもの

ではなく、配置替え等で職員の発想を変え、知恵を出して行く。

インターネット議会中継

みてください！一般質問・本会議を

「ユーストリーム」の視聴ページへ



安芸高田市トップページから「安芸高田市議会」をクリック！

安芸高田市議会



議会中継

過去の中継

議会中継 ←クリック！



「インターネット中継」をクリック！

市議会インターネット中継
(USTREAMへの外部リンク)

27年度予算
きれいセンター

創意工夫による効果的な事業執行へ

一般会計 **5億8307万円**

(対前年度 925万円増 場内設備の改善など)

可決

芸北広域環境施設組合
議会(きれいセンター)

3月27日、芸北広域環境施設組合議会が北広島町で開催され、議案4件を審査し、すべて原案のとおり可決しました。

(主な審査)

- 専決処分承認を求めることについて(和解及び損害賠償の額)
- 専決処分の承認を求めることについて(26年度一般会計補正予算)
- 平成27年度芸北広域環境施設組合一般会計予算に対する関係市町の負担割合について
- 平成27年度芸北広域環境施設組合一般会計予算

組合議会議員

- 石飛 慶久
- 大下 正幸
- 穴戸 邦夫
- 秋田 雅朝
- 山本 優

(主な歳入)

- 市町負担金
・安芸高田市 2億6008万円
・北広島町 1億4251万円
- 交付税 1501万円
- ごみ処理手数料 1億776万円
- 有価物(古紙・鉄くず等)売却代 1750万円

(主な歳出)

- ごみ処理費 5億1908万円
- 〔主な内訳〕
・機械の修理など 1億7479万円
・作業委託や焼却灰のリサイクル費用など 2億4077万円

27年度予算の特徴

- 財政調整基金を増額
将来の施設補修費用の増加に対応するため積立額を704万円増額
- 利用しやすい施設に改修
受付の窓口やトイレ、場内の修繕工事等に753万円

質疑

Q 今後の運営計画は。
A 3年計画で検討中。25年度は施設のハード部分、26年度はごみの減量化というソフト面を検討した。27年度はこれらをまとめた「ごみ処理基本計画」を立案する予定。

Q 高齢の方など、ごみ出しが困難な方の対応は。
A 戸別収集での対応や他の方法など、市町の担当部署と協議したい。



改修予定のきれいセンター計量窓口
(狭いスペース・雨天時の対応改善)

議会のうごき 27年1月～3月の議会の活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
1	14・20・26		議会広報特別委員会	議会だより第44号の編集・校正
	14・20		全員協議会	市長報告、議長報告等
	22	木	総務企画常任委員会	現地調査
	27	火	議会運営委員会	第1回定例会の運営
2	17	火	議会運営委員会	第1回定例会の運営
	20	金	全員協議会	市長報告、議長報告等
	20	金	議会広報特別委員会	議会だより第45の編纂について
	24	火	第1回定例会(開会)	施政方針・27年度予算等の上程
	25	水	予算決算常任委員会	26年度補正予算の審査
	26	木	第1回定例会(一般質問)	補正予算議決・一般質問(6名)
	27	金	第1回定例会(一般質問)	一般質問(4名)
3	3	火	文教厚生常任委員会	議案審査、報告事項
	4	水	総務企画常任委員会	議案審査、報告事項、所管事務調査
	5	木	産業建設常任委員会	所管事務調査、報告事項
	6・9・11		予算決算常任委員会	27年度当初予算の審査
	16	月	議会運営委員会	追加案件について
	18	水	第1回定例会(最終日)	委員長報告、議案の採決
	18	水	全員協議会	市長報告、議長報告等
	19	木	議会広報特別委員会	議会だより第45号の編纂

■27年第2回定例会は6月19日から開催を予定しています。

※詳細は、お太助フォン・市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

甲田町
今村義照さん

3月定例会は、27年度予算編成に伴う市の創生に向けた案件と、新規長期総合計画執行の初年度にあたり、その目標性を市民に開示する重要な議会であるという認識で傍聴を重ねた。

執行部は政策や施策、事業の方向性を提示し、議会側はその提案を受け、市民福祉や目的、効果などを検証し、市民サイドでチェックする機能を有する。

その観点からすれば、いささか物足りなさを感じた。議論の挑みや質疑がなく、論議にならないのである。

審議が深まれば、執行部との共有感が増すと同時にチェック機能が発揮でき、市民に説明ができる。それに向け今後の議会の頑張りを期待する。



【お詫びと訂正】

議会だより第44号16ページで「八千代心耕祭(11月7日)」とあるのは、12月6日の誤りです。お詫びして訂正いたします。

地域のかがやき

吉田 社協の指導で、地域に元気を



丹寿会 (2月12日)

八千代 八千代神楽団の舞 (大江山)



八千代の文化祭 (2月22日)

美土里 地域の命を守る



横田振興会での自主防災訓練

高宮 地域で「安全・安心」対策



上佐一心会 自主防災会 (2月21日)

甲田 アトラクションいろいろ



深瀬きらきら星祭 (3月15日)

向原 箱根駅伝に夢よせて



第23回 むかいはら 新春 健康マラソン大会

編集後記

平成27年度から10年間の指針「第2次安芸高田市総合計画」が4月からスタート。これまでの10年を振り返り、市の強みを共有し、今後の課題に取り組んでいくこととなります。

行政改革の取り組みとして、市からの通知文書の配布が月2回から1回となり、議会だよりも従来より半月遅くなりまりました。ご理解を賜りますよう、お願いいたします。

市民の皆様には、わかりやすくをモットーに、分担して発行に努めております。読んでいただいて、皆さまからのご意見をお寄せいただければ幸いです。

(久保 慶子)

〈発行責任者〉

議長 長山 優

〈議会広報特別委員会〉

委員長 秋田 雅朝

副委員長 久保 慶子

委員 玉重 輝吉

委員 玉井 直子

委員 下岡多美枝

委員 藤井 昌之

